

めだかの学校だより

令和8年5月1日

第131号

学舎：周智郡森町

「一宮総合センター」

事務局：静岡県磐田市

家田 529-20

TEL:0539-62-6691

校長訓話

第一三一回 校長 松本 芳廣

「私の人生いろいろ」

校長を務めさせて頂くのは、浜松市観音山キャンプ場での最後の開校以来です。今回は、テーマが「人生いろいろ」ですので、自分の人生を振り返らせて頂きます。

私は、昭和25年(1950年)に、現在の牧之原市の北部の谷あいの集落で育ちました。今でこそ東名のインターに3分、新幹線駅に20分、静岡空港まで15分と車さえあれば大変便利なところですが、小学校も中学校も高校もすべて最遠距離登校でした。決して豊かではない農家の次男坊でしたので、大きくなれば実家を出てどこかで暮らす宿命を小さい頃から分かっていました。そして、父親の兄弟がそうであったように、零細農家の実家に頼らない、迷惑をかけないということが、進路選択や職業選択の基本でした。それでも、東大の入学試験が学生運動のために中止された昭和44年、日本海側の総合大学の農学部農業工学科に進学させてもら

いました。学生時代の4年間は部活の自動車部に没頭していました。部活動は、楽しいだけではなく大学紛争とキャンパス移動の最中で苦労も多くありましたが、夏休みの九州や北海道遠征などを通じて社会人になる前に多くの貴重な経験をしました。

昭和48年4月、第1次オイルショック直前の好景気絶頂の時に静岡県技術吏員に採用され、磐田市にあった磐田土地改良事務所配属されました。以降、農業の生産性を上げるための水田や畑の区画整理や造成、用排水路や農道の整備事業などの調査計画や現場監督に従事しました。38年間の県職員生活の中では、県農政の長期計画や県全体の総合計画の策定にも関わらせてもらいました。また退職前の3年間は、県中部地域の防災と災害対策を担う地域危機管理局を任されました。県での仕事は、直接一般県民とやり取りする業務は少なく、市町や関係団体、国などを相手にすることがほとんどで、内々の論理に落ち入っているのではない、仕事のための仕事になっているのではないかと思うようになった時に、「めだ

かの学校」に出会い、様々な方々との交流は、次々とやってくる課題への対応や職場での人間関係の形成にとっても役立ちました。

平成23年に定年退職となり、民間会社3年務めた後、静岡県農業振興公社に呼ばれて農地の貸し借りを推進する農地中間管理事業の立ち上げに従事しました。

仕事と休みの切り替えをはっきりして心身の健康を保つため、若い頃はバイクのツーリング、その後はそば打ちを通じて多くの方々とお付き合いを頂いており、最近では、ハンドドリッブコーヒーのサークルにも参加しています。勤めを退いてからは、自分や家族が学校や仕事、地域で多くの方にお世話になってきているので、直接ではないにしても、お返しになればと思い、地域のお役目を務めるとともに生活支援などのボランティア活動に参加しています。これからも、腰や膝の痛みと付き合いながら、身体と頭が動く限り、地域での活動を続けたいと考えています。



めだかの学校伝言板

第131回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／松本芳廣

教頭／小野里美

用務員／鈴木計芳

給食係／※給食は取り寄せです。

<学舎> 静岡県周智郡森町一宮 3150

「一宮総合センター」

※コロナはまだ収まっています。

消毒とマスクはして下さいね。

開校日／令和8年6月6日(土) 正午～

受付／大場敬子・大橋町代・榊原幸雄(後見人)

33期通年テーマ：

『人生百年時代』

今回のテーマ：

《人生いろいろ…》

<時間割>

●1時間目 国語 山中幸子 先生

「私の人生あれこれ…」

●2時間目 社会 小山展弘 先生

「うらばなしいろいろ…」

●給食は取り寄せです。

PM3:15 開校

■いろいろやっています

私がめだかの学校を知ったのは、30年ほど前になります。私の家は新城市にあり、当時、授業が静岡県引佐町の奥山で行われていましたので、近いということもあり、何度か出席させていただいていました。当時は、新城市役所の職員でした。しかし、めだかの学校が引佐から森町に移り、疎遠になってしまいました。今回、2026年3月の第130回は、100回記念のときに参加して以来8年ぶりでした。なつかしい人ともお会いできとても楽しいときを過ごしました。

さて、私の活動の一端を簡単に記します。現在70歳になります。仕事は、新城自然エネルギー(株)の取締役として、新城市の公共施設の屋根を借り、太陽光発電で毎年100万円の売電をしています。設立10年になります。この事業は、市民出資と銀行とで資金を調達し、毎年出資者に利息をつけてお返ししています。新城市に会社があり、地産地消のエネルギー発電所です。

また、1990年から東栄町に本拠を置くプロの和太鼓「志多ら」の応援を35年間続けています。15年前の2010年に、その志多らとともに地域貢献するための「NPO法人てほへ」を設立し、現在その理事長です。活動拠点の東栄町体験交流館「のき山学校」で、様々な体験事業(木工、ピザ、キャンプ、カヤックなど)を行っています。

さらに、奥三河地域のシンクタンク「一般社団法人奥三河ビジョンフォーラム」の理事兼研究員としての調査・研究(生物多様性保全、関係人口創出、バイオマスエネルギー等)、愛知大学中部地方産業研究所の研究

員として、奥三河地域の調査・研究(移住・定住、東栄町振草川の鮎のブランド化等)を行っています。2026年3月まで、愛知大学地域政策学部の講師を務めています。もう1つ「地域活性学会東海支部三遠南信支局長」としても調査・研究を行っています。(清水良文メダカ)

■鈴木正士さんを偲ぶ会

昨年の7月17日に亡くなった、磐田市大平の鈴木正士さんを偲ぶ会が、4月18日(土)正士邸で開かれました。遠くは京都、名古屋、東京、埼玉、茨城、千葉など、県内外から40人ほどが出席。呼びかけは鈴木厚正さんから猫の手クラブの皆さん。毎月、正士邸を訪れては地域の草刈りや木の剪定などをやってくださっているだけに正士さん亡き後も勝手知ったなるとかで、正士さんの存命の頃と変わらない暖かく包み込んでもくれるような雰囲気だった。私は受付を手伝う。参加している女性たちは厨房で料理づくり。早めに来た人たちはタケノコ堀りやわらび採りやお茶摘みに。11時半から木洩れ陽の下での食事会。わらびやたけのこの飯に清し汁。終わった頃に手打ちそば。デザートと北海道の船木耕二さん差し入れのアツアツ炭火焼きホタテも。まさに「ころの込」った手づくり膳だった。

食事会のあい間の自己紹介を兼ねた正士さんとの出会いや関わりなどのひと言と、和氣調議の正士さんを偲ぶ会だった。

めだかからは東京の菅原敏一、小田原の溝口久、中村明男、袴田克臣、深澤明男、榎原幸雄、遅れて榊原淑友が出席しました。

(ハラメダカ)

■第31回全国棚田(千枚田)サミットinはままつの日程が決まる

「第31回全国棚田(千枚田)サミットinはままつ」の日程が決まる

ままつが11月14日(土)、15日(日)の2日間、浜松市駅前の「アクトシティ浜松」を主会場に開催される。テーマは「小さな棚田から日本を元気に」棚田は感動のステージ!つながらる奏でる地域の未来に!舞台となるのは久留女木(浜名区)、白檀(同)、大栗安天竜区)の各棚田。各棚田は小規模でありながら耕作者育成や復田など多様な活動に取り組む点を反映、また「音楽の都・浜松」を連想する言葉もテーマに盛り込まれた。詳細はこれから。

と感じました。その昔、尾張蜂須賀村から浜松へ四家族が住み始め今に至ると代々語られていました。今、大河にその始まりが少し見られると思うと、ワクワクしながらみております。歴史好きの蜂須賀千賀子より。ご自愛ください。だって。旅をして歴史を感じて今とつながっている…。いいね。蜂須賀家の由来も感じられて。

『人ひと・ヒト…だより』

●埼玉県所沢市の木村智子メダカ。多年草を使ったナチュラルガーデンづくり。これを広めていくことでコミュニティを育んだり、身近なところから生物多様性を守っていくことができるなあと、やりながらわかって来たので、あちこちで土や花とたわむれながらやっています。来年は花博もあるので一層広げていきたいと思っています。また20台で入学させていただいた学校、今年年齢を60歳と書きました。30年以上ありがとうございませう、だって。いや、思い出すねえ。フラワーセーター若草の2階でフラワーパークの加茂光廣さんと花談義。引佐町の小さなレス・トラ(リンデンバウム)の庭の設計までしてもらったり、と。

●浜松市の蜂須賀千賀子メダカ。毎回お手紙がありがとうございます。欠席ばかりで申し訳ございません。便りが頼り、コラム楽しみにしています。先日鹿児島へ温泉の旅でしてきました。歴史ある県を感じる旅でした。帰ってから大河の「西郷どん」みてみたら、懐かしい風景が出て旅に出るのもリフレッシュ

と。まず3年間だね、いや、松林ちゃんのこと、2期・3期と頼りにされるかも、きつと(笑)。

●浜松市佐久間町の山田修平メダカ。毎年1月下旬に行われる佐久間そば祭り、私等「結」もイモ煮やジャム、お菓子などで出店していますが、今年はめだかの仲間たちが来てくれて感激しました。佐久間町は後期高齢者が多いですが、いろんなことが始まっています。関心を寄せてもらえればと思っています。だって。めだかの学校に出席出来なくても、こうした形で仲間と会えるって嬉しいですね。

●磐田市の大杉昌弘メダカ。3月末日をもつて磐田市社会福祉協議会を退職することになりました。…4月以降は、杏林堂の移動販売車「とくし丸」の販売者として、磐田市の竜洋・福田など南部地域や、袋井などの地域を周り、買い物に不自由とされているお年寄りのもとへうかがう仕事をします。心身の健康に気をつけながら、ずっと心配をかけてきた妻孝行をしようかな、と思っています。これからもめだかの学校で人生の先輩の皆様から沢山の事を教えていただけたらと存じます。だって。お疲れさまでした。

4月からは新しい職業について大杉イズムを發揮していますね。期待しています。磐田市の袋井市の南部地域の皆さん「とくし丸」が来たら、ぜひ声をかけてあげてください。待つてまうす！（笑）

●三島市の野村諒子メダカ。お世話になります。おたよりをいつもありがとうございます。まず、欠席ですみません。先月1月に、三島市で「女性による女性のための相談会」という事業をしました。25件の重い内容をかかえた相談が来ました。お茶、コーヒー、お菓子を提供し、悩みをじっくり聞き、手や顔のお手入れをしたら笑顔になりました。皆さんいい顔で帰られました。直接話ができた場で大切ですね。私達もうれしい1日となりました。だって。良かったですね。AIではない。こうした顔の見える場の必要性をつくづく感じます。めだかの学校もいつもそうありたいと思つてやっています（笑）。

●千葉県習志野市の市原実メダカ。昨日2月8日に千葉県のわが家の付近でも雪が降りました。何年ぶりかでした。「めだかの学校」のご案内ありがとうございます。3月7日の例会ですが、いま私は83歳で腰が痛く外出を控えています。欠席させていただきます。榊原さんは4月で86歳になられるとのこと。私より二歳の先輩ですね。「春よ来い！早く来い！」と望んでいる一老人です。だって。年をとるといろいろ出てきますね。無理は禁物ですが、歩かないとダメですヨ。私は1日五千歩以上歩くようにしています。お腹もすくし、「はんも美味しいです」（笑）●浜松市の大谷洋平メダカ。130回開校おめでとう。つづいていることがうれしいよネ。出席します。前回忘れていて「コメンネ」に「貫いよかったよ。年だ、物忘れが多くなつて昔のことから何から何まで自信がなくなつて困っています。年はとりたくないよネ！。早く行きたいけど自分では決められ

ないし、ま、なるようになるのを待つだけネ。ヨロシク。だって。89歳だよネ。まア、開きなおっているようなところを見ると、まだまだ大丈夫。来年は35周年。大同窓会やるんで、元気でいてもらわなくては。（笑）

●磐田市の鈴木祐之メダカ。第130回「めだかの学校」は。今回も残念ながら欠席させて頂きます。またいつか夜間に開校するまで楽しみに待っています。暖かくなつたらまた「課外授業」も期待しております。また差し入れるかも、だって。ごめんね。夜の開校は高齢者が多く、無理です。夜が絡められるとしたら、『第35周年記念大同窓会』の時かなア。

●掛川市横須賀の鳥山剛メダカ。令和8年度前期3天朝ドラが4月から始まりました。ヒロインは栃木県黒羽町の女性です。黒羽藩は横須賀藩西尾家から名君大関増裕公が養子に行き、幕府の陸軍、海軍、奉行を務め14歳年上の勝海舟が軍艦奉行で増裕公の部下でした。ドラマは黒羽藩首席家老、大関弾右衛門増虎の二女大関和の物語です。ドラマでは一ノ瀬信右衛門、一ノ瀬りんとなつています。和は明治のナイチンゲールと呼ばれた看護界の偉人で、黒羽町の宝です。黒羽町とは岐阜県岩村町と同時期40年前から交流をしています。ゆかりの黒羽町の偉人がドラマのヒロインになつてとてもうれしいです。だって。良かったですね。ドラマに親近感を持てますね。

●磐田市の大島たまメダカ。春を感じられる日が多くなってきました。今回の「めだかの学校」は所用が出来てしましてお休みいたします。すみません。余談ですが、翌週14日は母校岩田小学校開校式です。行政が決定し、何年も前からの決定事項ですが、寂しいですね。少子化の影響ともいいますが、先々年の全校児童数87名。私たちの時でも100名足らずでした。母校開校より百数

十年、ひとつの時代の終わりをひしひしと感じます。だって。私の近くの豊岡東小学校と幼稚園が開校、閉園する時には反対運動が起きて大いにもめました。私が豊岡東公民館長の時で、いやゝ間にはさまつて困りました（笑）。

●浜松市引佐町の鈴木計芳メダカ。桜がきれいに咲き、新茶の生産が近づき忙しい毎日です。4月11日（めだかの職員会議）はできる限り出席したいと思いますが、急に行けなくなつたら連絡します。3日のメダカは先生の声が小さくて耳の悪い私には分かりませんでした。そういう人が多かったと思います。残念でした。次回は1人ゝ3人の先生の話より全員の3分間スピーチと意見交換にして、皆の話が聞きたいと思っています。花井さんなど遠くから来てくれていい話ができる人なに残念ですね。次回よく相談しましょう。弁当持参で3時のおやつタイムもいいですね、だって。いやゝいろいろな提言ありがとう！一人3分の授業は、毎年月初の9月にやる予定です。2月の、森町、磐田、袋井のお茶の視察は、多くの人の出会いがあり、良い新茶ができてさうとのこと、どうですか？楽しみです。

●静岡市清水区の花井孝メダカ。お達者な様子で何よりです。私共の清水から観る富士山は夜空に真っ白な姿で凜と聳えた孤高の姿はまるで自らをかえり見た様な美しさです。我が家の山の神の言う事にやゝ、孤独の間違いでしょ！と。富士山はいいねえ。私も大好き！ いずれにしても富士山はさておき、途中は省略させていただきます。相変わらず又映のお助けマンをしています。大井川鉄道のSLの不通、道路のがけ崩れ、「コ罗纳の後遺症」などで、又映は厳しい状況です。そこで昨年から地元食材の鹿肉を使って商況の回復をめざしておりますが、ジビエで起死回生には無理があり、壁が越え

られません。グッドアイデアがあればご教授ください。だって。ごめん。グッドアイデアが無いので以下も省略させていただきます。あつ、そうだ。次回の「課外授業」は、寸又峡で「ジビエ料理と温泉と地域おこしの課題」でどう？！いいかも（笑）。でも、又はじまつたと叱られそう（笑）。

〔贈呈〕 風土舎通信保存版 第6分冊
●飯田市上久堅の長谷部三弘メダカから、ひさかた風土舎通信、NO314ゝ384号最終版をまとめた保存版が送られてきました。刊行にあつたの保存版のあいさつ文には、風土舎通信、32年間「愛読いただきありがとうございます」がとうございました。小さな村の小さな出来事を記録することを目的に伊那谷の風土を愛し、社会教育で培つた知見、経験、人脈を活かした32年間の地域活動の記録です。

、土を求めて吹く風は、軽く涼やかに、風を呼び込む土は、重く温かく、

和して文化を、生み出して『地域自治』を培ってきた。この地域活動の経験や知見、上司や同僚の人脈に恵まれていたので幸いしましたので、社会教育の原点に立つて進めることができました。と。
めだかの学校のことも何か所か載っているの第131回の時に展示します。

× × × × × × ×

紙面の都合で多くの原稿を載せることができませんでした。ごめんなさい。でも時々ハガキかLINE、FAXでお便りくださいね。お待ちしています。

《お知らせ》
めだか春秋は今回もお休みします。

■事務局だより

目に青葉山ホトトギス初ガツオ

青葉のいい季節になりました。みなさん、どのようにお過ごしですか？5月の連休はどこへ行かれました？。私はどこへも行かずでした。6月末にニュージランドから孫娘が来ます。その時に一緒に旅行に行こうと思っています。それまで我慢です。(笑)。

さて、第130回めだかの学校の学校は3月7日の土曜日。今回もハッピーングが。山中幸子校長のご主人が亡くなられ、また教頭の村松幸範さんが遅刻で間に合わず。校長は鈴木真弓、メダカが、教頭は榊原幸雄メダカが代行。いやはやでございませす。12時ごろ給食の「釜飯」が届いたので開校前に各自に配る。10分遅れでバラ教頭の「気をつけれ」が始まる。新入生はいないが久しぶりに出席の鈴木一記メダカと清水良文メダカがあいさつする。お待ち兼ねの給食の時間。領収書を見たら、ひやう値上げ?!。おまえもか(笑)。でも、味もちゃんとアップしていたかな。給食のあとは全員で写真撮影。ハイ、チーズ。みんな席に戻りかけると、入口に大橋町代メダカ、その後から今度は城メダカが。『みんな戻って戻って』と撮り直し。これもメダカらしいね。このあと教頭役はバトンタッチ。



13時10分から校長訓話。代役の鈴木真弓校長「展示会が終わってポワーンとしている時の状態」と言いつつ、山中校長のことを少し話す。事務局からは「来年は開校35周年。大同窓会をやるう」に拍手拍手で決定!!。実行委員長は1回生の石野省三メダカ。苦笑いしながら「いつもそうだよ」と前でご挨拶。全員が実行委員のつもりで盛り上げよう!!ですヨね。

13時30分



らの授業。1時間目水村春江先生の社会「人生百年時代、このごろの婚活もようは？」3月8日は誕生日で85歳。1984年代からの年賀状をみれば私の歩みが分かると、綴じてある年賀状をみせる。浜名湖花博の水辺のステージでやった2組の結婚式のウェディングカップルの説明や、ワールドプロデュースの立ち上げ、松菱の放送テープの仕事や、冠婚葬祭などの司会、県下初の女性司会者に。2つの俳句の会に入っていて、俳句の披露も。

2時間目は、城雄二先生の理科「これまで私の私」これからの私」。広島県の呉育ちで、昭和16年生まれ。4歳の時、三重で戦争の中を逃げていたのを覚えていて。夢でみた夢と目の前にみた夢とどこが違うのか。米軍の飛行機が戦争はダメだ、戦争をなくしたい。広い広い土地ができるという、戦争がない畑が。平和な国をつくるのはどうすればいいのか。目的をはっきりし、集団をつくる。ある勉強会をしている、など話し、掛川の土地を見に来てもらいたい、と。体調が悪く、声に張りがなく、聞きづらかったが。最後に榊原淑友メダカが補足してくれた。内容は哲学的な趣もあり、少人数の座学がいいのではないかと思います。



2時半からの私語飲食全て禁止の次回三役発表は、校長は松本芳廣。教頭小野里美、用務員鈴木計芳。どんな展開になるか楽しみます。2時40分、前の方の机と椅子を片づけて、大きな輪を作り、「今日の日はさようなら」を歌いつつ、握手してお別れを。いつもながら手の温りを感じつつ。またの再開を!。ご機嫌よう...



第131回めだかの学校の職員会議を4月11日(土)10時から学舎で開く。出席者は校長の松本芳廣、石野省三、中村明男、鈴木真弓、榊原淑友、榊原幸雄の6名。教頭の榊原幸雄、用務員の鈴木計芳、埋田千聡、大島たまよは用務員があり欠席。遅れてくる人もあり最初は雑談。10時半になったので始める。テーマはあとにして先に先生を決めよう、と言つことになり、1人は山中幸子さん、「前回校長だった、ご主人が亡くなり欠席。校長訓話もやっていないし、森町観光大使もやっているから」と。もう1人は「今は議員やっていないから出席しやすいのでは」と小山展弘さん。科目と課題は?。1時間目、国語「私の人生あれこれ」山中幸子先生。2時間目は社会「うらばなしいろいろ」小山展弘先生。テーマは《人生いろいろ》に。話題はあつちこつちにとび回っても決める時はこんなもんだね(笑)。

■第34期の申込み受付を始めます

第33期は、令和7年9月1日から令和8年8月31日までです。今回の131回をもつ

て今年度は終わります。第34期は、令和8年9月1日から令和9年8月31日までです。6月6日の第131回開校日より、申込み受付を始めます。毎年度手続きが必要ですが、手続きを怠ると、自主退学扱いとなり、名簿から外れます。気を付けてください。新しく入校を希望される方がいましたら事務局まで連絡下さい。申込書と資料を送ります。若い人も入るといいですね。

■今回も遅れました、ごめんなさい

いつも原稿のメール打ちの石野省三メダカ、大島たまよメダカ、村田徳治メダカ、水島加寿代メダカ、秋山勝則メダカ、村松達雄メダカ、今回は清水良文メダカも。写真撮影の横山忠志メダカ、まとめてくださる間瀬亮太メダカ、発送などのお手伝い榊原明美さん、ありがとう。感謝!

■めだかの学校だよりの原稿を!

次回の発行は、令和8年8月1日予定。締め切りは7月15日です。なんでも結構です。みなさんの日頃の活動をお手紙・FAX・LINE・FBで。メールの方は、

《mavun.f100@gmail.com》
間瀬亮太090050090686です。

(アドレスが変わりました。昔のアドレスは使用不可。)

■めだかの学校の事務局

〒438-0105 静岡県磐田市家田529番地20 榊原幸雄方 TEL 05399.62.6691 (FAX 同)

※学舎「一宮総合センター」周智郡森町一宮3150。電話 05388.899.7730 開校日の午前11時以降のみ使用可。
携帯 080-1612-9130

